

学校からの情報提供に関する不登校保護者アンケート

■調査体制

実施主体 オンラインフリースクール「SOZOWスクール小中等部」
調査協力 石井しこう（不登校ジャーナリスト）
調査助言 関水徹平（明治学院大学 准教授）

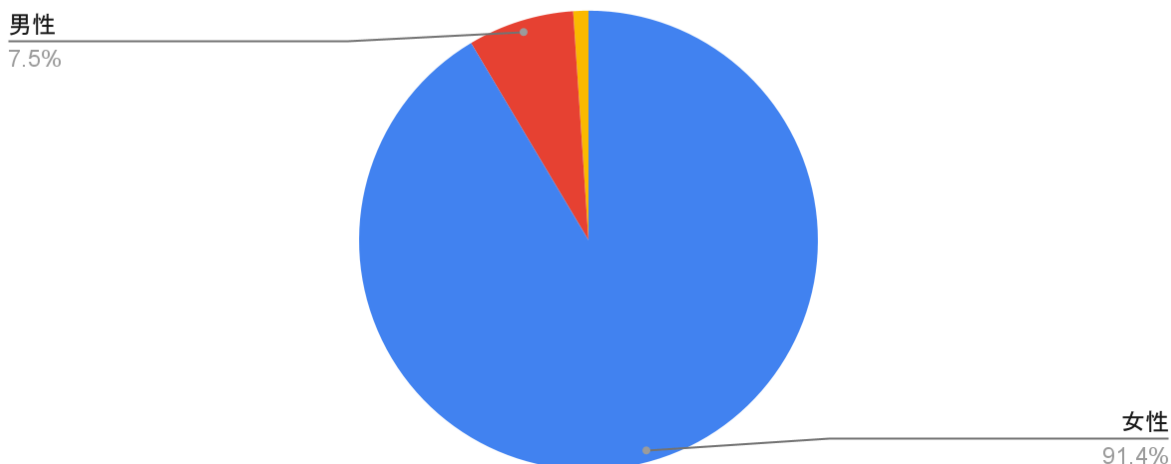
■調査概要

調査方法 インターネット調査
調査期間 2024年8月24日(土)～9月2日(月)
対象者 小学生4年生から中学3年生の不登校（※）の子どもをもつ保護者
（SOZOWスクール小中等部 在籍者の一部）484名
回答数 197人
有効回答数 187人（おもに不登校定義に当てはまらないケースを除外）
居住区 全国31都道府県(北海道～沖縄)
回答者の性別 男性:7.4%、女性:91.5%（その他1.1%）
子どもの性別 男性:57.4%、女性:41.5%（その他1.1%）
子どもの学年 小学校4年～6年:38.8%、中学生:61.2%
不登校の開始時期 小学校:80%、中学校:20%

※不登校の定義 過去1年間で年間30日以上为学校欠席があった者

■回答者（保護者）の性別

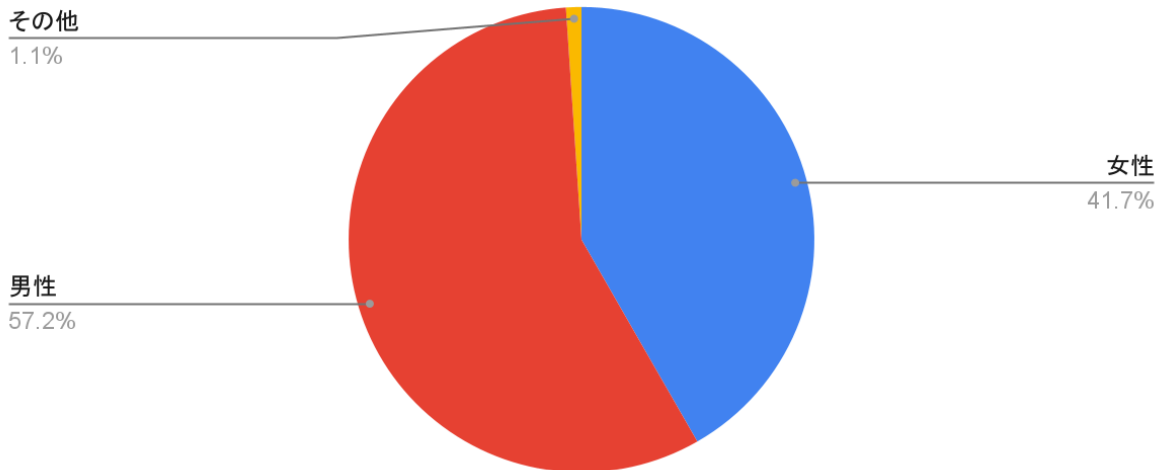
ご回答いただいている保護者の性別をお答えください。



性別	人数	割合
女性	171	91.4%
男性	14	7.5%
その他	2	1.1%
合計	187	100.0%

■回答者が保護する子ども（以下、子ども）の性別

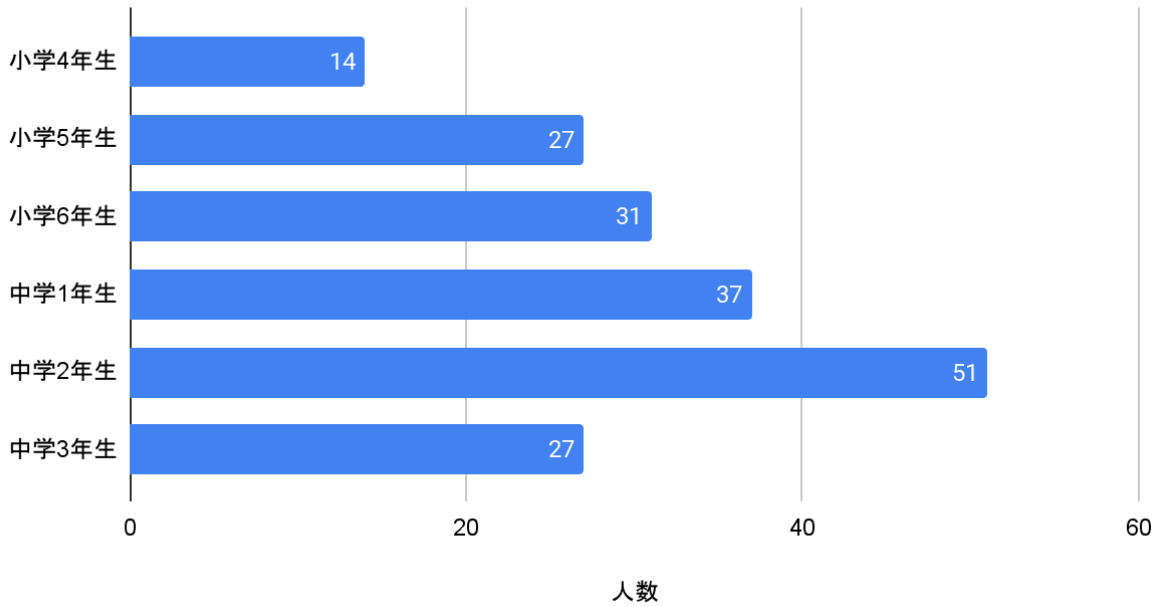
お子さんの性別をお答えください



性別	人数	割合
男性	107	57.2%
女性	78	41.7%
その他	2	1.1%
合計	187	100.0%

■子どもの学年

お子さんの学年をお答えください。

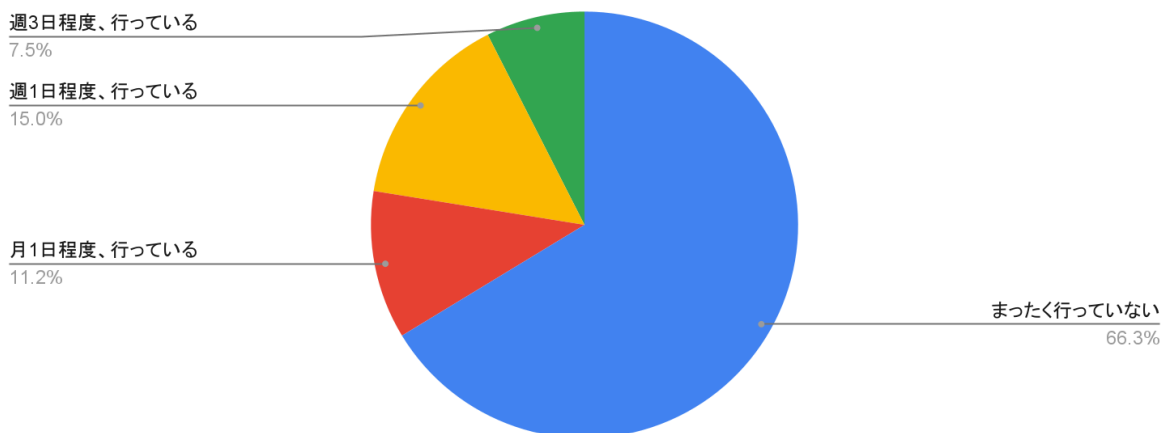


学年	人数	割合
小学4年生	14	7.5%
小学5年生	27	14.4%
小学6年生	31	16.6%
中学1年生	37	19.8%
中学2年生	51	27.3%
中学3年生	27	14.4%
合計	187	100.0%

小学生合計38.5%、中学生合計61.5%（平均学年 中学1年生）

■在籍校への通学頻度

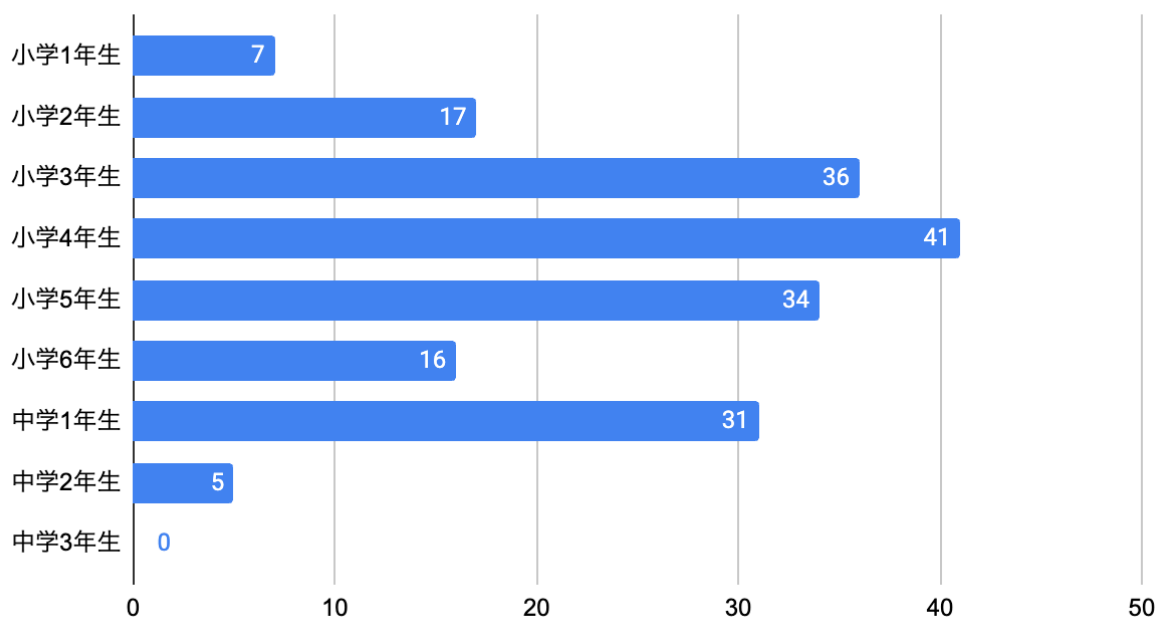
在籍している学校への通学状況を教えてください。



通学頻度	人数	割合
まったく行っていない	124	66.3%
月1日程度、行っている	21	11.2%
週1日程度、行っている	28	15.0%
週3日程度、行っている	14	7.5%
計	187	100%

■不登校の開始時期

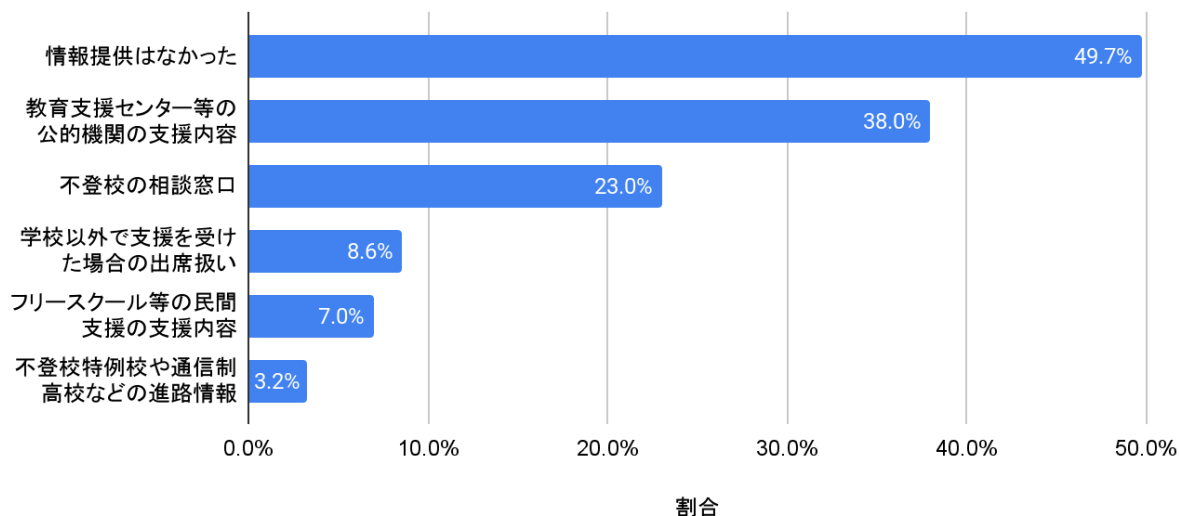
お子さんが学校へ通わなくなり始めた学年をお答えください。



学年	人数	割合
小学1年生	7	3.7%
小学2年生	17	9.1%
小学3年生	36	19.3%
小学4年生	41	21.9%
小学5年生	34	18.2%
小学6年生	16	8.6%
中学1年生	31	16.6%
中学2年生	5	2.7%
中学3年生	0	0.0%
合計	187	100.0%

■不登校になった際、学校からどんな情報提供を受けましたか (複数回答)

お子さんが学校へ通わなくなり始めたときに、学校から下記のような情報提供はありましたか？



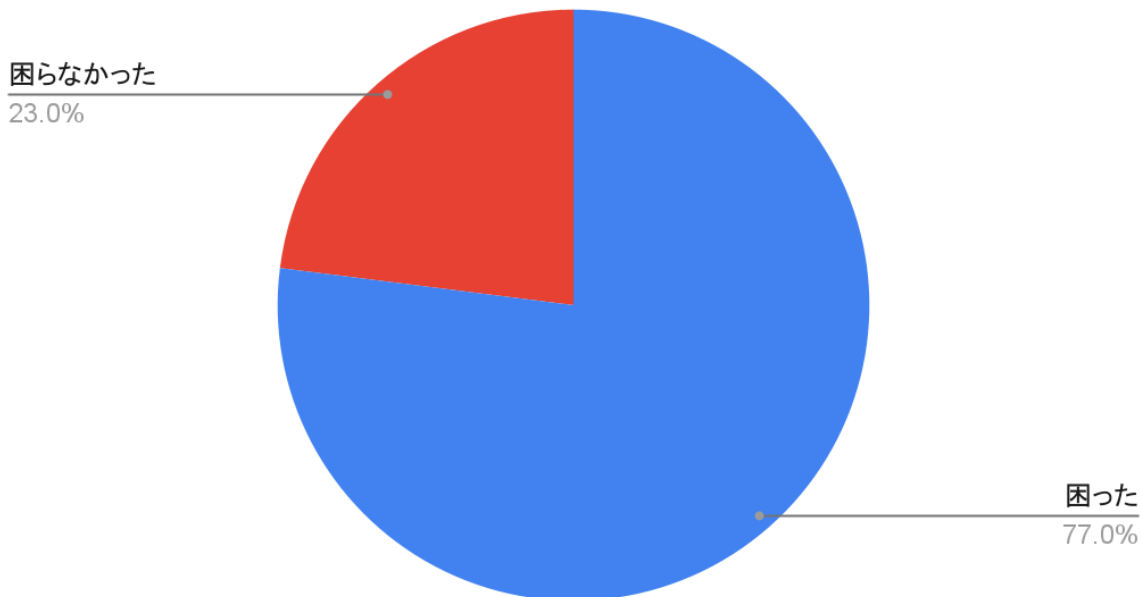
提供された情報の内容	割合	人数
情報提供はなかった	49.7%	93
教育支援センター等の公的機関の支援内容	38.0%	71
不登校の相談窓口	23.0%	43
学校以外で支援を受けた場合の出席扱い	8.6%	16
フリースクール等の民間支援の支援内容	7.0%	13
不登校特例校や通信制高校などの進路情報	3.2%	6

■とくに役に立った学校からの情報提供 (自由記述)

- ・ 特別支援学級、校内別室登校支援、適応指導教室について
 - ・ 放課後デイサービス、フリースクールについて
 - ・ 一日50分「すらら」(オンライン教育プログラム)に取り組めば出席扱いになるということ
 - ・ 思春期神経内科の案内
- など

■学校から不登校支援に関して必要な情報提供がなく困りましたか？

学校からの必要な情報提供がなく困りましたか？



※質問の原文は「お子さんが学校へ通わなくなったとき、学校から不登校支援に関して必要な情報提供がなく困りましたか？」

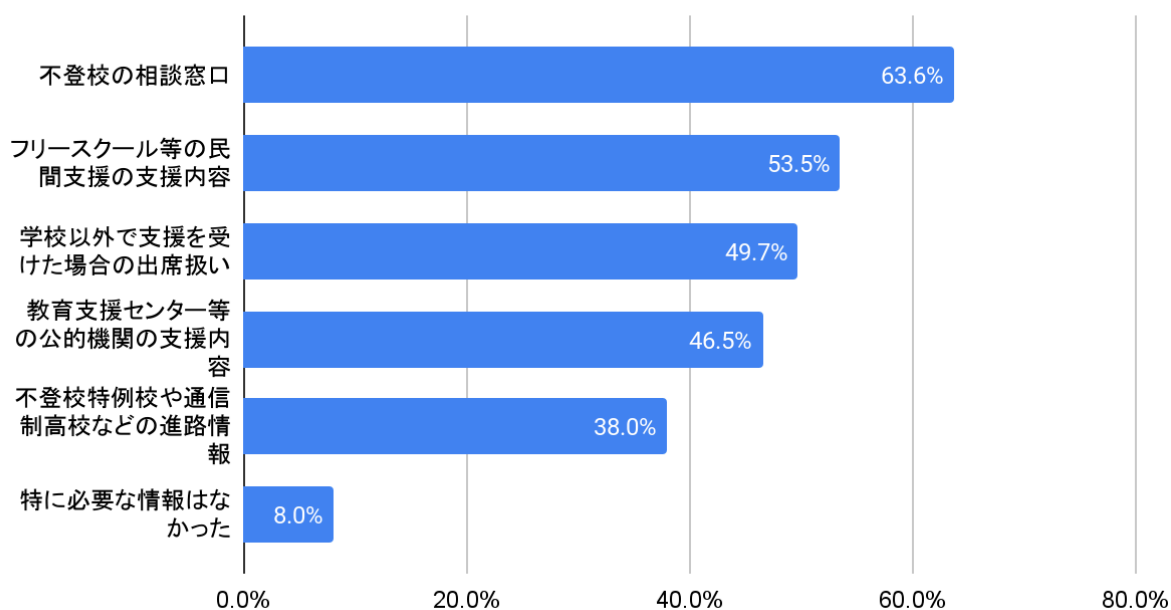
※困った = 「とても困った」「やや困った」の合算値

困らなかった = 「あまり困らなかった」「まったく困らなかった」の合算値

	人数	割合
とても困った	72	38.5%
やや困った	72	38.5%
あまり困らなかった	39	20.9%
まったく困らなかった	4	2.1%
合計	187	100.0%

■ 不登校になった際、必要だと思った情報（複数回答）

不登校になった際、必要だと思った情報（複数回答）

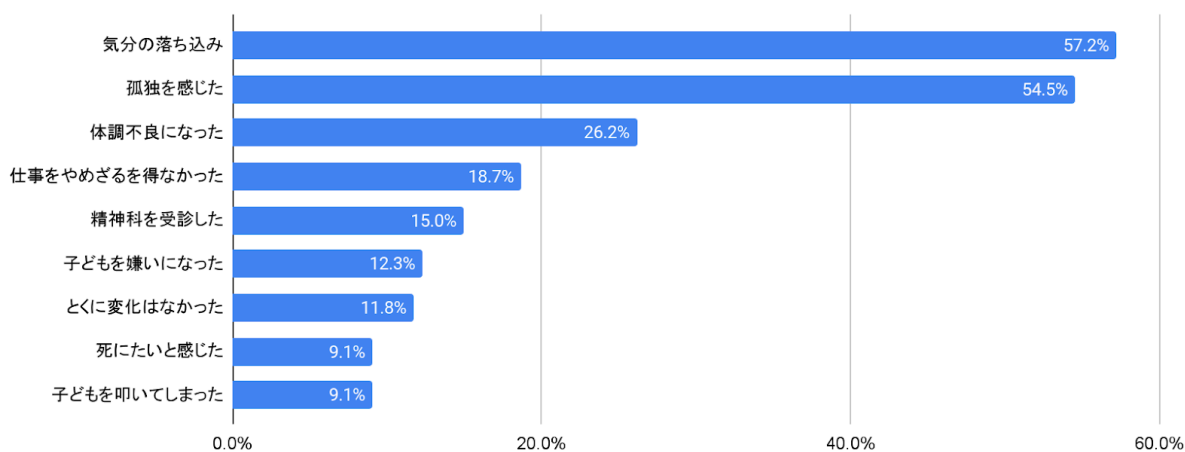


情報の内容	人数	割合
不登校の相談窓口	119	63.6%
フリースクール等の民間支援の支援内容	100	53.5%
学校以外で支援を受けた場合の出席扱い	93	49.7%
教育支援センター等の公的機関の支援内容	87	46.5%
不登校特例校や通信制高校などの進路情報	71	38.0%
特に必要な情報はなかった	15	8.0%

※質問の原文は「お子さんが学校へ通わなくなり始めたときに、学校からどのような情報提供が必要でしたか？(複数回答可)」

■不登校によって保護者に起きた変化(複数回答)

不登校によって保護者に起きた変化(複数回答)

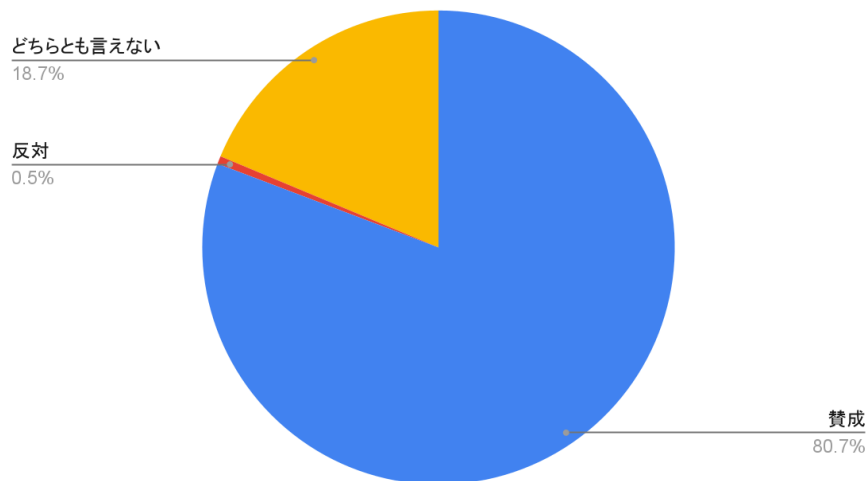


変化	人数	割合
気分の落ち込み	107	57.2%
孤独を感じた	102	54.5%
体調不良になった	49	26.2%
仕事をやめざるを得なかった	35	18.7%
精神科を受診した	28	15.0%
子どもを嫌いになった	23	12.3%
とくに変化はなかった	22	11.8%
死にたいと感じた	17	9.1%
子どもを叩いてしまった	17	9.1%

※質問の原文は「お子さんが学校に通わなくなったことで、保護者様自身にどのようなことがありましたか？(複数回答可)」

■不登校の支援情報について、学校からの日常的な情報提供に賛成か反対か

学校からの日常的な情報提供に賛成か反対か

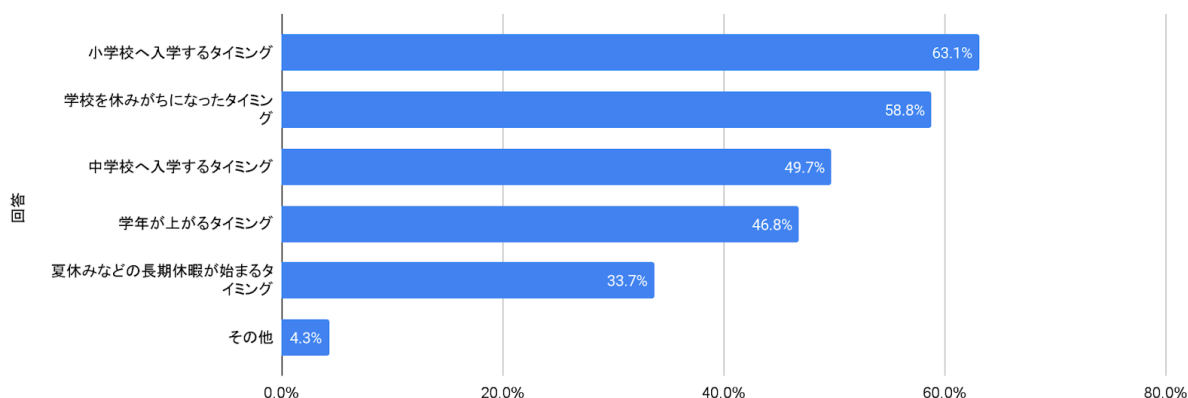


回答	人数	割合
賛成	151	80.7%
反対	1	0.5%
どちらとも言えない	35	18.7%
合計	187	100.0%

※質問の原文「お子さんが不登校であるかどうかにかかわらず『学校は普段から保護者に対して不登校支援に関する情報を提供すべきだ』という意見に賛成ですか？反対ですか？」

■不登校支援の情報提供をしてほしいタイミング（複数回答）

不登校支援の情報提供をしてほしいタイミング



回答	人数	割合
小学校へ入学するタイミング	118	63.1%
学校を休みがちになったタイミング	110	58.8%
中学校へ入学するタイミング	93	49.7%
学年が上がるタイミング	88	46.8%
夏休みなどの長期休暇が始まるタイミング	63	33.7%
その他	8	4.3%
学校からの情報提供は必要ない	1	0.5%

※質問の原文「学校から保護者への不登校支援に関する情報提供は、どのようなタイミングでなされることが必要だと思いますか？（複数回答可）」

■学校からの不登校支援に関する情報提供についてのご意見などあればお書きください。（自由記述）

- ・不登校についての情報や不登校の子どもについて、現場の先生方が知らない方が多い
- ・公的な支援の情報だけでなくフリースクールなど民間機関の情報も教えて欲しい
- ・無理に登校させないことが1番大切だということ、校内で相談できる相手や教室以外の居場所の例、校外で相談できる先が書かれたプリントを1枚もらうだけでも違うと思います。
- ・不登校になった当時の校長は知っている情報も少なく、フリースクールですら認めてくれない人でしたが、校長が変わってからは対応が一変しました。あまりにも校長の考えで対応が変わりすぎてしまうのは問題